



NAKAI
INTER CIRCUIT
GRAND PRIX
OF JAPAN

MOTO CUP

ポケバイ・キッズバイククラス レギュレーション

- 1、チャレンジキッズ
- 2、ポケバイキッズ
- 3、モタードキッズ
- 4、ターミネーターミニ



1, チャレンジキッズ

(1) 参加資格

- ① レースに関するルール・レギュレーションを理解し、スポーツマンシップに則った行動を取る事ができる者
- ② 年齢規定は無いが、意思疎通ができ、主催者が認める者
- ③ 下記タイム規定を満たす者

(2) 参加可能車種・規定

- ① 日本ライフ社製ポケバイ等
 - A. 過去販売されていた物であればメーカー・車種は問わない
 - B. エンジンは標準仕様の物とし、改造・チャンバーの装着は不可
 - C. フロントカウルの取り付けは前方2か所、後方1か所以上固定する事
- ② 74 Daijirō
 - A. 車両規定はDaijirōカップに準拠する
 - B. エンジンは標準品であれば指定しない
 - C. キャブレター口径はφ13のみとする
- ③ オフロードベース車両
 - A. CRF50・DRZ50・TT-R50・PW50・QR50等の国産車をベースとし、オンロードタイヤに換装した車両とする
 - B. 出力を増強する改造・ブレーキ構造の変更は一切認めない
 - C. クラッチは遠心クラッチのみとする
 - D. タイヤは10インチ以下とする
 - E. ガソリンキャッチタンクの装着・ドレンボルトのワイヤリングを施す事
- ④ 海外製車両
 - A. 基本的に不可であるが、車両規定等を満たし、事前に車検長の許可が得られた車両のみ参加を認める
- ⑤ キッズ用電動バイク
 - A. 事前に車検長の許可が得られた車両のみ参加を認める
 - B. 出力は750W（瞬間最大1500W）までの車両とする
- ⑥ その他、各車種共通
 - A. 本規定に拘わらず、競技長・車検長の判断で危険とみなされた車両を使用する事は出来ない
 - B. ネジ・ボルト類やベアリング等は特に規定しない
 - C. スプロケットとチェーンに指等が巻き込まれないガード類を装着する事(アンダーチェーンガード等)
 - D. 突起物や鋭利な部位等は切除等の措置を施す事

(3) タイム規定

- ① 前戦までの公式結果にて28.0秒/周を切れない者のみ参加できる
 - ② レース初参加、または、規定タイムを切るかどうか微妙なライダーはレース中に規定タイムを切っても同クラスへの参加継続を認め、賞典外としない。ただし、27.0秒を切った場合は協議の上、賞典外となる場合がある
 - ③ 公式結果にて規定タイムを切った場合、次戦よりチャレンジキッズクラスへの参加を認めない
 - ④ レース日の練習走行・予選時に規定タイムを切り、当該ライダー及びその保護者から申請があった場合は上位クラスへの参戦変更を認める
 - ⑤ チャレンジキッズクラスのライダーは上位クラスとのダブルエントリーは認めるが、その逆は認めない
- ※ レースのタイム・公式結果とは練習走行・予選・決勝のベストラップを指す

(4) 装具類

- ① レーシングスーツ（皮ツナギ）・レーシンググローブを着用する事
- ② フルフェイスヘルメット・ヘルメットリムーバーを着用する事
オフロードメットの場合はゴーグルを着用する事
- ③ 装具類は過度な損傷や汚れがある物は認めない

2, ポケバイキッズ

(1) 参加資格

- ① レースに関するルール・レギュレーションを理解し、スポーツマンシップに則った行動を取る事ができる者
- ② 年齢規定は無いが、意思疎通ができ、主催者が認める者
- ③ 下記タイム規定を満たす者

(2) 参加可能車種・規定

- ① 日本ライフ社製ポケバイ等
 - A. 過去販売されていた物であればメーカー・車種は問わない
 - B. エンジンは標準仕様の物とし、改造・チャンバーの装着は不可
 - C. フロントカウルの取り付けは前方2か所、後方1か所以上固定する事
- ② 74 Daijirō
 - A. 車両規定はDaijirōカップに準拠する
 - B. エンジンは標準品であれば指定しない
 - C. キャブレターはφ15の使用を認める
- ③ オフロードベース車両
 - A. CRF50・DRZ50・TT-R50・PW50・QR50等の国産車をベースとし、オンロードタイヤに換装した車両とする
 - B. 出力を増強する改造・ブレーキ構造の変更は一切認めない
 - C. クラッチは遠心クラッチのみとする
 - D. タイヤは10インチ以下とする
 - E. ガソリンキャッチタンクの装着・ドレンボルトのワイヤリングを施す事
- ④ 海外製車両
 - A. 事前に車検長の許可が得られた車両のみ参加を認める
- ⑤ キッズ用電動バイク
 - A. 事前に車検長の許可が得られた車両のみ参加を認める
 - B. 出力は750W（瞬間最大1500W）までの車両とする
- ⑥ その他、各車種共通
 - A. 本規定に拘わらず、競技長・車検長の判断で危険とみなされた車両を使用する事は出来ない
 - B. ネジ・ボルト類やベアリング等は特に規定しない
 - C. スプロケットとチェーンに指等が巻き込まれないガード類を装着する事(アンダーチェーンガード等)
 - D. 突起物や鋭利な部位等は切除等の措置を施す事

(3) タイム規定

- ① 公式結果にて28.0秒/周を切ることができる者のみ参加できる
- ※ レースのタイム・公式結果とは練習走行・予選・決勝のベストラップを指す

(4) 装具類

- ① レーシングスーツ（皮ツナギ）・レーシンググローブを着用する事
- ② フルフェイスヘルメット・ヘルメットリムーバーを着用する事
オフロードメットの場合はゴーグルを着用する事
- ③ 装具類は過度な損傷や汚れがある物は認めない

| | 参加可能車両 | タイム規定 | 年間タイトル |
|----------|---------------------------|-------------|--------|
| チャレンジキッズ | ポケバイ キッズ用モトクロス ベース車 | 28.0秒/周より遅い | なし |
| ポケバイキッズ | キッズ用電動バイク | 28.0秒/周より速い | あり |

3、モタードキッズ・ターミネーターミニ共通

(1)参加資格

- ①レースに関するルール・レギュレーションを理解し、スポーツマンシップに則った行動を取る事ができる者
- ②年齢規定は無いが、意思疎通ができ、主催者が認める者

(2)参加可能車種・規定

- ①オフロードベース車両
 - A. CRF50・DRZ50・TT-R50・PW50・QR50等の国産車をベースとし、オンロードタイヤに換装した車両とする
DRZ70の参加は認めるが、賞典外とする
 - B. 出力を増強する改造・ブレーキ構造の変更は一切認めない
 - C. クラッチは遠心クラッチのみとする
 - D. タイヤは10インチ以下とする
 - E. ガソリンキャッチタンクの装着・ドレンボルトのワイヤリング(増し締め可)を施す事
- ②海外製車両
 - A. 事前に車検長の許可が得られた車両のみ参加を認める
- ③キッズ用電動バイク
 - A. 事前に車検長の許可が得られた車両のみ参加を認める
 - B. 出力は750W(瞬間最大1500W)までの車両とする
- ④その他、各車種共通
 - A. 本規定に拘わらず、競技長・車検長等の判断で危険とみなされた車両を使用する事は出来ない
 - B. ネジ・ボルト類やベアリング等は特に規定しない
 - C. スプロケットとチェーンに指等が巻き込まれないガード類を装着する事(アンダーチェーンガード等)
 - D. 突起物や鋭利な部位等は切除等の措置を施す事

(3)装具類

- ①レーシングスーツ(皮ツナギ)・レーシンググローブを着用する事
- ②フルフェイスヘルメット・ヘルメットリムーバーを着用する事
オフロードメットの場合はゴーグルを着用する事
- ③装具類は過度な損傷や汚れがある物は認めない
- ④モタードキッズクラス特記
 - A. MXウェア等のモトクロス装備での参加を認める。ただし、胸部・肘・膝のプロテクター類は装着する事
 - B. ヘルメットリムーバーの装着はこのクラスのみ推奨とする

(4)走行内容について

ターミネーターキッズとモタードキッズの差異については以下に示す。

| | ターミネーターキッズ | モタードキッズ |
|-------|--------------|------------------|
| 練習走行 | タイムトライアル | タイムトライアル |
| 予選 | タイムトライアル | 予選ヒート |
| 決勝 | 周回数 | 周回数 |
| ジャンプ台 | 無し | 有り |
| グリッド順 | タイム順グリッドスタート | 上位者より任意箇所を選びスタート |

競技規則

1, 催行台数

競技の成立は4台以上の参加を要し、台数に満たない場合は「レース不成立」となる。ただし、安全性に留意した上でクラス混走にて催行する場合がある。

2, 車検

- (1)全ての車両は競技前に車検を受けなければならない。
- (2)不合格となった場合は再車検を受ける事ができるが、規定時間内に合格できない場合は失格となる。
- (3)車検はライダー自らがクラス・氏名を申告し、車両・装具類を指定箇所に持参する事。
- (4)競技終了後、再車検を行う事がある。この際、規定を満たさなかった場合は失格となる。
- (5)ゼッケン

①番号

年間固定とする。希望番号を受け付けるが、先着順とする。

②取り付け箇所

- A. 車体前方上部と後部左右の計3か所かつ、走行時に外部からはっきりと視認できる箇所に取り付ける事。
- B. 書体は指定しないが文字の大きさは縦10cm以上であること、かつ、10m以上離れてはっきり視認できる文字である事。
- C. ゼッケンはベース・文字共に塗装またはカッティングシートにより貼り付ける事。ガムテープ・養生テープ・ビニールテープ類は認めない。
- D. 他サーキット等のレースに参加している車両については考慮する場合がある。

(6)車両・装具類

- ①各クラスレギュレーションに合致した車両を作成し、装具類を各自用意する事
- ②レギュレーションに合致していても、オイル漏れ・突起物等、不相当と認められる物がある場合は参加を認めない。

(7)燃料・油脂類

- ①ガソリンは市販のレギュラーまたはハイオクのみを使用する事。アブガスやニトロ等レースガス類の使用・燃料への混合は一切禁止する。
- ②油脂類は市販品のみ使用可。ただし、市販を前提としたテスト品の使用は可とする。
- ③タイヤのグリップを増強する薬剤の使用は認めない。

(8)スペア車両は認めない。

3, レース

練習走行・予選(モタードキッズのみ予選ヒート)・決勝の順に行う。

走行時間・周回数は適宜変更するほか、天候等の状況により変更する場合がある。

(1)練習走行

規定時間内であれば走行は自由。(モタードキッズのみ予選ヒートの順位決めを行う)

(2)予選

規定時間内であれば走行は自由。予選のベストラップ順に決勝グリッドが確定する。

なお、モタードキッズクラスのみ予選ヒートを行う

※練習・予選にてエンジントラブルが発生した場合は、エンジン交換を許可する。

ただし下記条件のもと行う事とする。

- ①クラス規定に合ったエンジンのみ交換可
- ②競技長の許可を得たうえで作業をする事。
- ③作業完了後は再車検を受け、車検長の許可を得る事。
- ④申告なく作業した場合は失格とする。

(3)決勝

規定周回数にて争われる。

- ①スタート方法はスタンディングとする。
- ②スタートの合図はシグナルまたは日章旗を使用する。
- ③トップライダーが規定周回の50%を消化した時点で成立とする。

4、ペナルティー

(1) 競技中のペナルティー

- ① 掲示された旗に従わない場合
 - A. 黄旗掲示区間にて追い抜きをした場合は決勝レースの結果より1周減算する。
 - B. 赤旗を無視した場合は原則失格とするが、やむを得ない場合は考慮する場合がある。
 - C. ダブルチェッカー・チェッカー後に追い抜きをした場合は決勝レースの結果より1周減算するが、やむを得ない場合は考慮する場合がある。
※レース時に掲示される旗の意味については別紙にて規定する。
※練習・予選中に旗等を無視した場合は原則決勝の結果に反映する。
- ② 決勝・予選ヒートのスタート時におけるペナルティー
 - A. 競技スタートの集合合図から2分以内に集合しない場合は棄権とみなす。
 - B. スターティンググリッドに着き、エンジン始動の合図後、2分以内に始動できなかった場合は最後尾スタートとする。3分を超えた時点でスタート進行とするが、その後再始動できた場合はピットスタートにより競技に参加できる。
 - C. フライングがあった場合は赤旗を示し、やり直しをする。同一人物が2回以上フライングした場合はペナルティーとして最後尾スタートとする。
- ③ 給油
コース内での給油はスターティンググリッドを含め一切認めない。違反した場合は決勝の結果より1周減算する。
- ④ 故意の減速・停止
コースイン直後・コースアウト直前・トラブル発生時以外一切禁止する。故意と認められる場合は決勝の結果より1周減算する。
- ⑤ 逆走
一切禁止する。違反した場合は失格とする。ただし、オフィシャルの指示により逆走する場合はその限りでは無い。
- ⑥ 救援
競技中にオフィシャル以外の者が手助けした場合は失格とする。ただし、危険な状況においてはその限りでは無い。
- ⑦ 妨害
故意・過失に限らず斜行・接触等他参加者の妨害をした場合は、失格または決勝のレース結果より1周減算する。
- ⑧ その他
オフィシャルの指示に従わない場合は、失格または決勝のレース結果より1周減算する。
※走行の有無に関わらず失格となった場合、エントリー費は返還しない。

(2) 抗議

- 競技等に関する抗議は全て書面をもって行う事とする。競技終了後30分以内に抗議料(5千円)を添え競技長に提出する事。他方法による抗議は認めない。
抗議の裁定結果は当事者に口頭で伝えられ、抗議料は抗議が成立した場合のみ返還する。

5、遵守事項

(1) コースイン・コースアウト

- ① コースイン・コースアウトする際は必ず左手を挙げ合図をする事。
 - ② コースイン時は他車両の走行を妨害する事なく安全なラインで速やかに加速する事。
 - ③ コースアウト時は予めアウトラインを走行し、後方への安全に配慮する事。
 - ④ ピットロードでは必ず徐行する事。追い抜きは一切禁止する。
- ※コースイン前に必ずアゴ紐等装具類の確認をする事。

(2) 走行時

- ① 転倒時の対応
 - A. 後続車両に注意を払った上で速やかに再スタートをするか、コース外へ退避する事。
 - B. 再スタート時はオフィシャルの指示を仰ぎ、後続車両に接触しないようにする事。
 - C. 参加者が再スタート不可と判断した場合はオフィシャルにその旨を伝え、安全な箇所へ退避する事。オフィシャルにより再スタート不可と判断される場合もある。
 - D. 再スタート不可となった場合は原則コース内の安全地帯にて待機する事。
 - E. コース外へ退去する時はオフィシャルの指示に従い、速やかに退去する事。
- ② 部品の脱落・装具類の不備・オイル漏れ等コース内で危険な状態が生じる場合は競技中に於いても即時安全な場所に停車し、オフィシャルの指示を待つ事。
- ③ ②の車両がオフィシャルの指示または自身の判断に於いてコースアウト・ピットインする際は他競技者の妨害をしてはならない。

(3) 参加者・同伴者・観戦者

以下に反したものはペナルティーを科す場合がある。

- ① サーキット内の既存ルールを順守する他、オフィシャルの指示に従う事。
- ② スポーツマンシップに照らし、常識ある行動を行う事。
- ③ 他参加者のピットへ無断で立ち入らない事。
- ④ 競技中のコース内への立ち入りはオフィシャル以外禁止する。ただし、許可を得た者・緊急時はその限りでは無い。

6、賞典

(1) 表彰台数

参加台数が3台の場合は1位のみ、4台の場合は2位まで、それ以上の場合は3位まで表彰する。

(2) シリーズランキング

ポケバイキッズのみシリーズポイントを付与し、最終戦までの総合得点によってシリーズランキングを決定する。ポイントは参加台数に拘わらず以下とする。

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 順位 | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 | 6位 | 7位 | 8位 | 9位 | 10位 | 11位 | 12位 | 13位 | 14位 | 15位 |
| ポイント | 20 | 17 | 15 | 13 | 11 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

※シリーズランキングに於いてポイント同数の場合は以下内容により決定する。

- ① 優勝回数、②①が同数の場合は2位回数、③②が同数の場合は3位回数、④③が同数の場合は最終戦での成績

(3) シリーズランキングエントリー

ポケバイキッズ参加者は対象者全員にシリーズポイントを付与するが、以下に合致する者のみとする。

- ① シリーズポイントは「エントリー名」ごとに集計される。同一人物であっても以前のエントリー名と異なる場合は新たな名にポイントを付与し、合算しない。その為、「エントリー名」は年間固定することを推奨する。
- ② 止むを得ず変更する場合は競技長へ申請する事。

7, エントリー

(1) エントリー方法

当サーキットHPのエントリーフォームからのみ受け付ける。

(2) エントリー名

- ① エントリー名は基本的に15文字までとする。
- ② ダブルエントリー時は名前を統一する事。
- ③ 常識的なエントリー名にする事。
- ④ 上記内容が守られていない場合、エントリーを拒否することがある他、主催者権限に於いてエントリー名等を変更する事がある。

(3) エントリー締め切り

各戦開幕の1週間前までとする。

(4) 支払期日

(3)の翌月曜日までとするが、当日が祝日の場合はその翌日とする。

(5) 当日エントリー・レイトエントリー

行わない。やむを得ない事情によりエントリーが遅れる場合は、競技長に許可を得た上でエントリーを認める場合がある。

(6) 受理

入金確認をもって完了とする。

8, 主催者・大会委員長・競技長の権限

(1) 失格・退場について

本大会の主たる目的はモータースポーツの振興・子供たちの健全な心身の育成を期待するものである。従って、規則に限らず危険またはスポーツマンシップに照らし不適切な言動・暴言・暴力・反社会的行為・公序良俗に反する行為・過度な飲酒・各種法令・一般常識等に照らし、他参加者に多大な影響を与え、本大会の運営を阻害した者は出場停止を命じると共に即刻退場を命じる事ができる。

(2) レースの中止・延期

天候不良や天災、その他特別な事由によりレース開催が困難であると判断した場合は中止または延期できる。その場合のエントリー費等は次戦以降に持ち越しとし、参加者は一切の損害賠償等を請求することはできない。


(3) 著作権・肖像権等に関する権限

全参加者・来場者の映像・画像・音声等、報道・放送・出版に関する権限を有し、この権限を第三者が使用する事を許可できる。また、参加者・来場者は大会開催期間中これら権利を一時的に移譲する事を許可したとみなす。

(4) その他

- ① 本レギュレーションに記載が無い事項や不備、その他問題が発生した場合、都度、当事者と主催者・大会委員長・競技長・車検長間に於いて協議の場を持ち、解決を図るものとする。解決が図れない場合は主催者権限に於いて裁決を下すものとする。
- ② 本レギュレーションは予告なく変更する事がある。

レース旗一覧

| | | | |
|---|--|--|---|
| <p>国旗</p> <p>レーススタート 旗から手が離れた時点でスタートとなる。ポケバイはシグナルで示す。 (レッドライト消灯でスタート)</p>  | <p>黄旗(イエローフラッグ)</p> <p>前方に危険がある事を示す 停止準備・追い越し禁止。 [静止]先のコーナーで危険がある事を示す。 [振動]目前のコーナーで危険がある事を示す。 適用範囲: 静止～振動～危険箇所を過ぎるまでの区間</p>  | <p>赤旗(レッドフラッグ)</p> <p>競技中断 即座に減速し最大限の慎重さと注意をもってピット又はコース入り口へと戻る。 レーススタート時にフラッシングがあった場合も掲示される。</p>  | <p>チェッカーフラッグ</p> <p>競技(走行)終了 練習走行・予選・決勝レース等が終了した事を示す。 チェッカーフラッグを受けた後は減速し、各自のピットへと戻る。</p>  |
| <p>青旗(ブルーフラッグ)</p> <p>後続車に譲れ 周回遅れに掲示される。後方よりペースの速い車両が接近しているため、進路を譲らなければならぬ。</p>  | <p>チェッカーフラッグ + 青旗</p> <p>最終周のフィニッシュライン手前で1位のライダー直前に周回遅れのライダーが走行している場合、トップライダーはチェッカーを意味するが、直前を走るライダーはもう1周走る事を示す。</p>  | <p>白黒旗 + ゼッケンボード</p> <p>警告 ゼッケンが掲示されたライダーはストップに反する行為をした事を示す。是正しない場合は失格となる。(→黒旗)</p>  | <p>黒旗 + ゼッケンボード</p> <p>失格 競技を続ける事が危険と判断されたライダーに掲示される。ゼッケンが掲示されたライダーは速やかに減速・ピットインし、競技長へ出頭しなければならない。</p>  |
| <p>オレンジボード + ゼッケンボード</p> <p>車両等の不具合 ゼッケンが掲示されたライダーは装備品・車両等に不具合があり、自身・他者に危険を及ぼす可能性がある事を示す。掲示されたライダーは速やかに減速し、コース外への回避、またはピットインしなければならぬ。走行不能と判断する場合は安全な場所に停止する事。再走行する場合は不具合箇所を修正し、再車検を受けなければならない。</p>  | |  | |

- ・注意事項
- ① 上記はあくまでも参考です。場合により表記と異なる指示がなされる場合もありますので、競技長・係員の指示に従ってください。
 - ② 他サーキット・レースと旗の意味が異なる場合がありますので注意してください。
 - ③ 解除旗(グリーンフラッグ)は使用しません。